

播磨町の教育

令和6年度、播磨町立小・中学校、幼稚園、こども園の
教育方針についてお知らせします。

問合せ 地域学校教育課学校教育係 ☎079-435-0545

播磨町立播磨幼稚園
園長 久保 朋子

遊びや人との関わりを通して『生きる力』の基礎を育む

(1)遊びを通して

遊びの中で、いろいろなことに気付いたり、わくわくしたり、驚いたり、心が動くことで、次への意欲へとつながっています。そして、繰り返し試したり工夫したりしながら、『生きる力』の基礎が育まれてきています。

(2)人との関わり

異年齢児との関わりや小学生や中学生、絵本ボランティアの方など、様々な人と触れ合う機会があることで、人に関わる楽しさや憧れの気持ち、人の優しさを感じることができました。今後も人との関わりを大切に、園児の心を育んでいきます。



播磨町立蓮池幼稚園
園長 藤原かおる

主体的に遊ぶ子どもを目標し、生きる力の基礎を育む

(1)遊びを通じた学び

子どもたちが『おもしろそう』『やってみたい』『不思議だな』という思いをもち、主体的に活動ができるような環境を整え、遊びが充実できるようにしました。友達と考えを出し合い、互いの良さを認めながら遊びを楽しむ姿が見られました。

(2)人との関わり

異年齢児や、小学生、畑をお世話して下さる地域の方、シニアクラブの皆さま、ボランティアの方など、人との関わりを通して豊かな心が育つように努めました。自ら積極的に関わろうとし、人との関わりを楽しむ心が育ちました。



播磨町立播磨西こども園
園長 富山 智子

いろいろな人との関わりの中で、思い合う心を育て、生きる力の基礎を育む

(1)いろいろな人との関わりの中で

園内外の様々な人と関わる機会を多くもつことで、相手を思う気持ちや憧れの気持ち、互いに思い合う心が育ってきています。今後も人とのつながりを大切にしながら保育を進めていきたいと思います。

(2)遊びの中の学び

子どもたちの一人一人の思いを大切にしながら、人的・物的・空間的環境を整えることで、『やってみよう』『もつとやりたい』『と意欲的に遊びを進める姿が見られるようになってきています。』



播磨町立播磨中学校
校長 西野 直樹

人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する

(1)規律ある自由(Liberty)とLoveの法則の実践

自由(Liberty)とFreedomとの違いの意義を理解し、『Listen! (人の話を聞く)』『Open! (心を開く)』『Voice! (声を出す)』『Enjoy! (楽しむ)』を大切に学校生活を送っています。

(2)地域とともにある学校づくりを目指した活動

恒例となった平田オリザさんの授業の最終日、『これからを担う子どもたち(これから)の学校教育、地域に求められること』についての講演を通して生徒、教師、保護者、地域の皆さんと共通理解することができました。



播磨町立播磨小学校
校長 穂原 清斗

人やもの、学びの「つながり」を創造する児童の育成
「自律・協働・地域」

(1)特色ある学校づくり

児童の興味関心から、教科や身のまわりの不思議を探求する単元学習を計画し、工夫しながら実施することが今年度でもできました。昔遊び、冬野菜作り、播磨小学校の歴史や郷土のために尽くした人、防災、そして、播磨町の課題を、地域の方々からの協力を得て、発展的に学ぶことができています。また、シルク・ドウ・ソレイユでも活躍した縄跳び名人を招いて、いろいろな技を紹介していただき、子どもたちの体力づくりに役立ちました。



(2)児童会活動の充実

「助け合いみとめ合い、みんなで仲良く明るく元気」を努力を続けるはりまっ子」をスローガンに、計画ワークが中心となる児童の自主的な活動を推進しました。集会活動が益々発展しています。

播磨町立蓮池小学校
校長 松井 恵子

主体的、創造的に生きる「人間力」豊かな子どもたちの育成

(1)国語科を中心に個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善

子どもが自律的に思考判断し、学びを調整しながら課題解決に向かう時間を『チャレンジタイム』として設定しました。単元の中の数時間において、学習形態や学習ツールなどを子ども自身が選択・決定し、主体性を保障した上で学びを進めます。子どもが自主する授業へ大きな一歩となりました。

(2)子ども・保護者・地域・職員のウェルビーイングをかなえる学校づくりへ

学校ボランティアの活動等が活発となり、全ての子どもたちの幸せを中央に据えつつ、大人同士の笑顔が繋がっていくことの大切さを感じます。さらなるコミュニケーションスクールを推進に努力したいと思います。



播磨町立播磨西小学校
校長 藤原 由香

主体的・創造的に生きるこころ豊かな子どもたちの育成

(1)地域・家庭と連携した子どもたちへの支援

昨年度に引き続き、2年生の九九学習での「九九先生としての参加や家庭科学習のボランティアなど、子どもたちの学習支援に地域・保護者の方々に活躍していただきました。

(2)子どもたち主体の「学校づくり」

児童の発案により、さかなのおにいさん、かわちゃんによる「おさかなクイズショー」をオープンスクールとして実施することができました。また、来年度にむけて創立50周年記念行事のアイデア募集も行いました。



播磨町立播磨南小学校
校長 都倉 聖子

「夢」と「希望」を持ち、社会的自立を目指して学び合う、心豊かで、たくましい南っ子の育成

(1)学習指導の充実

主体的に課題に取り組み児童の育成を図り、職員が日々研鑽を積み、授業改善に取り組みました。全ての教科で「自分の考え」を持ち、「友と対話すること」で学びを深めています。また、道徳の授業も充実し、思いやりにあふれた「はあ」とあたたかな児童の育成に努めました。



(2)保護者、地域への情報発信

日々の児童の様子をホームページのトップクス(ブログ)にアップし、保護者の皆さまにリアルタイムでお伝えすることができました。学校行事のたびに、児童が成長している様子をご覧いただけたと思います。今年度、地域の方々にご協力をいただく機会が多く、これからもさらに連携し、魅力ある学校づくりに努めます。

播磨町立播磨南中学校
校長 福田 吉成

社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成
「南中の『あ・ひる』を大切に育てていこう」

(1)学習指導の充実

生徒は、落ち着いた雰囲気の中で学習活動に取り組んでおり、「確かな学力」の定着に向け、少人数授業やICT機器を積極的に活用しながら、きめ細かな指導を心がけてきました。

(2)行事の活性化

体育大会では、クラスや団で協力し素晴らしい演技を披露しました。文化祭の各学年の合唱コンクールでは、どのクラスも心を一つに感動させる合唱を作り上げることができました。また、生徒会が中心となり、「南中五輪」で楽しい時間をみんなで見ることができました。

